

令和6年度

避難行動要支援者対策 ～災害弱者をつくらない～

災害が発生した際に、高齢者や障がい者の方々等は、健常者に比べて避難時に特別な対応が必要な場合が多く、また、避難生活においてもより大きな困難を伴うことがあります。

この研修では、避難行動要支援者に対して、平時からどのように取組を進め、災害発生時にはいかにして円滑に避難できるようにするのか、また、避難した後の生活において、それぞれのニーズに応じた生活が送れるよう、市区町村等がどのような対策を行っていくべきか考えます。

研修の ポイント

本年1月に発生した能登半島地震の被災地である輪島市の事例なども参考に、受講者皆様と一緒に必要な対策を考えます。

開催要領

- 日 程** 令和6年11月5日(火)～11月7日(木) (3日間)
- 場 所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
- 対 象** 避難行動要支援者に関わる市区町村や社会福祉協議会、NPO等の職員
- 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申込みください。
- 募集人数** 50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
- 宿 泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
- 経 費** 11,750円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
- 申込期限** 令和6年9月20日(金)まで
- 申込方法** JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。
- 受講決定** 受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
- 事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和6年

11月
5日(火)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 避難行動要支援者対策を考える

～自ら避難することが困難な人をどう支援するか～

新潟大学 危機管理本部危機管理センター 教授 田村 圭子 氏

避難行動要支援者対策をめぐる法制度について学び、個別避難計画の取組現状や能登半島地震等の災害時における課題を学びます。

15:50~17:00

意見交換会

受講者同士で、所属する市区町村等の避難行動要支援者対策に関する取組内容を話し合い、課題を共有します。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~12:00

事例紹介 防災・福祉・地域の連携による個別避難計画の作成と実際

大分県別府市 企画戦略部政策企画課

課長補佐・防災総合連携官 村野 淳子 氏

災害時に避難行動要支援者を安全に避難させるために重要な「地域や専門職との連携」について、別府市の事例をご紹介します。また、この取組を踏まえて進めておられる個別避難計画の具体的な作成方法についてもお話しいたします。

意見交換・質疑応答

コーディネーター:大分県別府市 村野 淳子 氏

事例紹介講師との意見交換・質疑応答により、各地域に合った効果的な支援者対策について考えます。

13:00~17:00

事例紹介 福祉避難所の取組

石川県輪島市 市立輪島病院 事務部長 河崎 国幸 氏

本年1月の能登半島地震の被災からの学びを、同じ支援に携わる自治体職員の皆様にお伝えいただけます。

輪島市は、平成19年の能登半島地震で、全国初の福祉避難所を設置し、国のガイドライン策定に関わった後、そのガイドラインに準拠したマニュアルを作成し、毎年訓練を重ねるなど取組を進めて来られました。今回の被災で、その取組が力を発揮した点、また見直す点などを踏まえて、福祉避難所の円滑な設置・運営のためのポイントについてお話しいたします。

意見交換・質疑応答

コーディネーター:大分県別府市 村野 淳子 氏

事例紹介講師との意見交換・質疑応答により、福祉避難所の設置、運営について、日頃からの取組と災害時・後の対応について考えます。

令和6年

11月
7日(木)

9:00~12:20

講義・演習 避難行動支援及び避難所開設・初動対応演習

一般社団法人防災教育普及協会

教育事業部長・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏

地域の災害特性や住民の暮らしに即した避難行動支援の演習、及び避難所開設・初動対応演習を行い、これまでの研修内容を具体的なシミュレーションに反映させながら、各地域での実践につなげます。

13:20~14:10

意見交換会

本研修から学んだことを活かして、受講者各自がすぐに取り組むべき事、各地域の支援策促進について考えます。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。